教文館　**重版案内**　買切り　2022年1月31日

啓示と三位一体

組織神学の根本問題

オンデマンド版［上製］近藤勝彦 著

現代日本を代表する組織神学研究第一人者の集大成『キリスト教教義学(上・下)』刊行に合わせ、その基本構想となった論文集を復刊！

●イエス・キリストの「歴史的啓示」から三位一体の神への理解、さらに内在的三位一体から神の永遠の意志決定に基づく救済史の理解に至る。著者の組織神学の基本構想とそれに基づく諸テーマを扱った論文集。

著者紹介　近藤勝彦（こんどう・かつひこ）

1943 年東京生まれ。東京大学文学部卒業、東京神学大学大学院修士課程修了、チュービンゲン大学に学ぶ。神学博士（チュービンゲン大学）。東京神学大学教授、学長を経て、現在は同大学理事長、名誉教授。日本基督教学会理事長、日本基督教団銀座教会協力牧師。

著書　『現代神学との対話』(1985 年)、『歴史の神学の行方』(1993 年)、『トレルチ研究(上·下)』(1996 年)、『デモクラシーの神学思想』(2000 年)、『伝道の神学』(2002 年)、『キリスト教の世界政策』(2007 年)、『キリスト教理に理学』(2009 年)、『二十世紀の主要な神学者たち』(2011 年)、『贖罪論とその周辺』(2014 年)、『救済史と終末論』(2016 年)、『キリスト教弁証学』(2016 年)、その他。

A5判・上製・310頁・定価8,580円（本体7,800円+税）　ISBN 978-7642-0351-8　C0016